



答
流水所逐今



水

甘坡士



日時 平成二十七年十月十一日（日）

午前十時半開場・午前十一時開会

会場 シェラトン都ホテル大阪 四階「浪速の間」

緑崇流吟道緑水吟詠会

二代目宗家箕輪緑崇襲名披露

会創立四十周年記念祝賀会

主催 緑崇流吟道緑水吟詠会

後援 愛国詩吟総連盟

大阪府詩吟連盟

大阪府吟剣詩舞道総連盟

緑水流より緑崇流へ

さらに二代目宗家箕輪緑崇へと

受け継がれし みどりの絆 四十年

養德



流祖
故 奥蘭緑水師



初代宗家会長
故 箕輪緑崇師

希望
努力



二代目宗家
箕輪緑崇

限りなく
前進

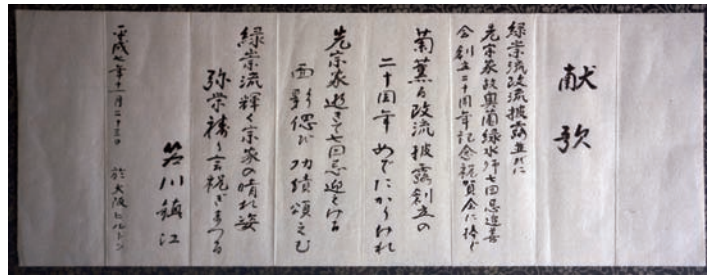


緑崇流 改流披露
先宗家 故 奥菌緑水師七回忌追善
創立 20 周年記念祝賀会

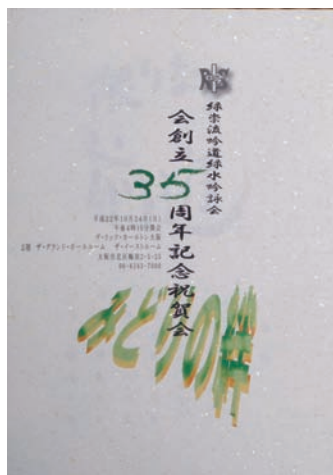


緑水流 流名披露
創立 5 周年記念吟剣詩舞道大会

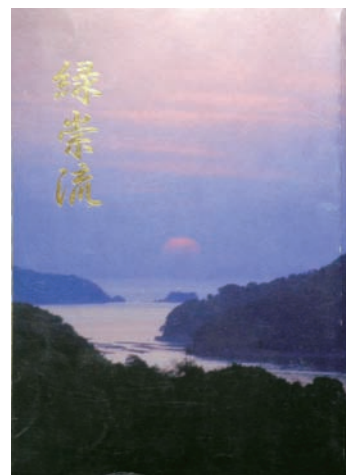
「菊薫る改流披露創立の
二十周年 めでたかりけり
先宗家逝きて七回忌迎えける
面影偲び 功績頌えむ
緑崇流輝く宗家の晴れ姿
弥栄禱り言祝ぎまつる」



会創立 20 周年に笹川鎮江先生より寄せられた献歌



会主 箕輪緑隆 継承
創立 35 周年記念祝賀会



緑崇流吟道緑水師会
創立 25 周年記念祝賀会

會詩

松口月城

明治天皇御製

さしのぼる

朝日の如くさわやかに
もたまほしきは

こころなりけり

朝吟喚起浩然氣
夕詠洗除心上塵
涵養人間眞善美
一吟一詠我心新

朝に吟じて喚起す浩然の氣
夕べに詠じて洗除す心上の塵
涵養す人間の眞善美
一吟一詠我が心新たなり

吟道を志す者は朝に吟じて広く世論を
喚び起こし、夕べに詠じて心上の塵を洗い除け、
人間として自然のうちに眞実と善、
美を学び又多くの人々に伝える事によつて
自分の精神も養われ新になるのである。

昭和五十一年一月、創流した緑水会に、
大いなる「水」の流れをしっかりと護り育てていく様、
特に松口月城先生より「眞善美」の句を挿して、
作詞賜りました。

・緑水会創立時作譜 流祖 故奥蘭緑水師
・平成五年四月一日 一部改譜

初代宗家 故箕輪緑崇師





ご挨拶

緑崇流吟道緑水吟詠会

二代目宗家 箕輪緑崇

季節の移り変わりのはやさを肌で感じる中、十月の声を聞きますと日一日と秋の気配が色濃くなって参りました。本日ここに緑崇流吟道緑水吟詠会創立四十周年記念祝賀会という節目に二代目宗家箕輪緑崇襲名披露と言う日を迎えられましたことは、偏に実に多くの方々のお力添えがあつての賜であり感謝の念にたえないところであります。吟界の諸先生方をはじめ、各諸団体の皆様より数々のご祝辞を戴き又ご多忙中にもかかわらず、かくも多数ご臨席賜り会員一同心より厚く御礼申し上げます。

戦後七十年を経た今日、平和を守ってきました日本ですが、油断ならない社会問題が次々と起こっております。今年を振り返りますと課題に事欠かない程のテーマが沢山あります。明るく捉える事の出来る期待感もありますが時代は確実に変わり、そして今も変わり続けております。二千年には平和の祭典とも称される東京での二度目のオリンピックが開催され、世界中の人々をお迎えすることになりますが、それに伴い日本中が目まぐるしく変わるのではないでしようか。

そして、ますます多岐多様にわたってゆく社会状況の中、スピードも速く変化する時代であります。伝統の文化ともいえる吟道をいかに守っていくかが、重要になってくるのではないでしようか。しかし、この時こそ日本の伝統文化の魅力を世界に発信していく良い機会になればと思えます。脈々と詠い継がれる屈指の名詩には時代を越えた素晴らしい美しさがあります。最近では詩吟女子という本なども出版されており喜ばしく心が和みますが、とにかく今はこうして四十周年を迎えられますことに、喜びを感じるとともに感謝の気持ちで一杯でございます。このことは、ひとえに会員の皆さまのご協力ご支援に支えられ、皆さまの熱い結束力の賜物と存じております。

私は先代から引き継ぎまして、足かけ十年という歳月が経ち、本日ここに襲名という節目を迎え、故奥菌緑水師が会創設以来の四十年という歴史の重みと、責任の大きさを改めて噛みしめております。この光栄を汚すことなく先代の志と精神を受け継ぎ今後とも皆さまと共に歩み「限りなき前進」を信条に、より一層の努力を重ねて参る所存でございます。何卒今後の緑崇流の歩みを五十年、六十年と続けて行くことが出来ますように、これまで以上に末永く見守っていただき、変わらぬご指導ご鞭撻と暖かいご理解を賜りますようお願い申し上げます。どうか皆さま、ご健康に留意していただきませう、心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



お祝いのことば

愛国詩吟総連盟

理事長

山岡哲山

仲秋の好時節、緑崇流吟道緑水吟詠会におかれましては創立四十周年併せて二代目宗家箕輪緑崇襲名披露記念祝賀会をシエラトン都ホテル大阪において盛大にご開催されますこと心よりお慶びお祝い申し上げます。

平素は愛国詩吟総連盟の諸事業に積極的にご支援とご理解を賜りますこと、感謝、御礼申し上げます。

とりわけ、会主代行渡辺緑翔先生には常任理事として、会主箕輪緑隆先生始め幹部役員の先生方には理事、幹事としてそれぞれ力強いご奉仕を願っており、衷心より御礼申し上げます。

昭和五十一年奥菌緑水先生が吟道緑水吟詠会として発足、その後昭和五十五年緑水流吟道緑水吟詠会を創流「緑は色濃く水の流れば力強く」と女流名吟宗家として関西吟界に新風をおこされ、順調に流勢も伸展されておられました。惜しくも平成二年一月急逝されました。

平成七年、流祖緑水師七回忌追善、創立二十周年を機に現会名緑崇流に改流、箕輪緑崇師が宗家会長に就任されました。然し、好事魔多し、意欲をもやされました箕輪緑崇師も急逝、一門悲嘆の中、ご子息緑隆氏を会主に擁立、此のたびの慶事と前進、祝福の中に本日をお迎えになりました。

扱、愛国詩吟総連盟は多くの先達、指導者のもと、やがて八十年の歳月を重ねます。

歴史と伝統に培われ、今や日本吟界の中心的存在となりましたが、昨今の混迷せる世相にあつては、創始会長吉田益三先生の提唱されておりました「日本人の忘れてはならない勇氣と誇り」正しい「日本の心」を、詩吟を通じて次代を担う青少年に伝承する責務があります。

本日の記念祝賀会を契機に四十年の流史を礎に二代目宗家箕輪緑崇先生を中心に更に夢と希望をもってご発展されますよう祈念いたしましたして祝辞と致します。

平成二十七年十月十一日



お祝いのことば

大阪府詩吟連盟

理事長 矢間紫水

二十四節気の寒露の時節を迎え、日増しに秋色深まり、さわやかな時節となってまいりました本日、緑崇流吟道緑水吟詠会に於かれましては、二代目宗家箕輪緑崇襲名披露並びに会創立四十周年記念祝賀会を、シエラトン都ホテル大阪において盛大に開催されますこと誠にお目出度く、心よりお慶び申し上げます。

ひとかたに 靡（なび）き そろひて 花すすき

風吹く時ぞ みだれざるけり

江戸時代の歌人、香川景樹は『一面のススキの花は同じ方向になびいている。風が吹くと乱れることが多いけれども、たとえ嵐の風が吹こうともススキの花は強い絆でも同じ方向に靡いている』と詠っています。本日の二代目襲名という流派にとつての大きな節目を迎えるにあたり、緑水会会員の皆様が心に抱いておられる、奥菌緑水先生・初代箕輪緑崇先生への報恩の念を強く感じずにはおられません。まさに一致団結、会員同士の絆を再確認する、四十年の歴史を積み込んだ新しい船出といつても過言ではないでしょう。

吟縁により、初代箕輪先生が梅芳吟詠会在籍時代より、お互いの頑固さゆえか又遠慮のなさによるものか、私との衝突も多くありました。正直初代箕輪先生に兄のような親しみを感じていた私にとりまして、今回の慶事は他人事のように感じられず、誠に嬉しい限りでございます。

昭和五十一年、諸事情により奥菌梅優先生と共に箕輪梅崇先生が梅芳吟詠会を離れ、新しく奥菌緑水先生を宗家、箕輪緑崇先生を会長とした『緑水流吟道緑水吟詠会』を創立されましたが、残念ながら緑水先生が病のため逝去された後、新しく箕輪緑崇先生が『緑崇流』と改流され宗家として力強く会隆盛を図ってこられました。

まさかその緑崇先生までが、黄泉の国に旅立たれるとは思ひもしなかつた事でございます。

幸いにしてご令息の隆夫氏が「緑隆」と名乗られ、悲しみを乗り越えた会を愛する会員の総意により緑水会会主として就任され、再び会の安定を計ると共に確固たる基盤を現在までしっかりと築いてこられました。

今後共、吟詠普及振興を通じて、交流と友愛の輪を広げ、地域に根づいた文化組織として、二代目宗家を中心に、渡辺緑翔理事長はじめ幹部諸先生方のご活躍を心より願っている次第です。

吟詠は、豊かな人間性を育み、青少年への善導また社会浄化の為に忘れてはならない心に染み渡る伝統文化であり、まさに生涯教育の最たる芸道であります。自信を持つとともに歩んでまいりましょう。

最後になりましたが、緑崇流吟道緑水吟詠会の限りないご隆昌とご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉に代えさせていただきます。



お祝いのことば

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会

近畿地区連絡協議会

議長 宮田実龍

中秋の候、まさに秋色の自然の美しい姿を私たちに届けてくれています。

この素晴らしい季節の佳き日、緑崇流吟道緑水吟詠会二代目宗家箕輪緑崇襲名披露、並びに会創立四十周年記念祝賀会が、此処シエラトン都ホテルにおいて盛大に催されますこと誠に御目出度く心より御慶び申し上げます。

会幹部の先生方、又、会員の皆様もさぞお喜びの事と存じます。

御会の起源を辿りますと、紫洲流明吟会に発し紫水流梅芳吟詠会を経て、昭和五十一年一月一日付を以って、故奥菌緑水先生、箕輪緑崇先生により、吟道緑水吟詠会を創流、同年十月十日流名披露並びに創立五周年記念吟剣詩舞道大会を開催され、名実共に吟界に一流派として船出をされました。

それからは五年ごとに記念大会を開催され、順風満帆の道を辿られました。

しかし、残念乍ら平成二年一月十三日、宗家奥菌緑水先生が逝去されました。

その年の平成二年十二月二十二日緑崇流創立十五周年、故奥菌緑水師を偲ぶつどいを開催されました。

平成五年四月会員の総意を持って緑水流改め、緑崇流吟道緑水吟詠会と改流、宗家会長に箕輪緑崇先生が就任され、平成七年十一月緑崇流に改名披露と、先宗家奥菌緑水師七回忌追善、会創立二十周年記念祝賀会を開催され、着々と新しい体制で吟界において活動されました事は周知のところでありませう。

記念大会も五年ごとに開催され、平成十七年三十回大会、平成十八年十一月財団法人日本吟剣詩舞振興会吟剣詩舞功労賞を、晴れの舞台日本武道館において受賞され吟界において大きな期待をされた矢先に、まさかの出来事が起こりました。その月の二十日、緑崇先生が急逝され周囲は驚きの声に囲まれました。

私は、緑崇先生とは何となく気が合い幾度となく二人で飲みに行き良く話もしました。

一直線で正直なお人柄が誤解される事も有ったかも知れませんが、惜しみて余りある人と今も残念に思っております。

しかしながら先生亡き後、御子息緑隆氏が平成十九年一月、会員の皆様の総意で緑崇流吟道緑水吟詠会継承者として押されました。

その後、緑隆先生が会主として平成二十年十月三回忌の偲ぶつどい開催、平成二十二年十月会創立三十五周年、平成二十四年十月七回忌の偲ぶつどい開催、そして本日の二代目箕輪緑崇襲名披露、会創立四十周年記念祝賀会開催と、まさに見事な運営に関心感服する次第です。

本日の意義有る祝賀会が貴会にとりまして、更なる発展に繋がる事と終りに皆々様の御健康御多幸をお祈り致しまして私の祝辞とさせていただきます。



お祝いのことば

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会公認

大阪府吟剣詩舞道総連盟

理事長 増田 鵬 泉

仲秋の好季節 本日ここシエラトン都ホテル大阪におきまして緑崇流吟道緑水吟詠会二代目宗家箕輪緑崇襲名披露並びに会創立四十周年記念祝賀会を開催されましたこと、誠におめでたく心よりお慶び申し上げます。

平素は公益財団法人日本吟剣詩舞振興会公認 大阪府吟剣詩舞道総連盟の運営に際しまして二代目宗家箕輪緑崇先生をはじめ理事長渡辺緑翔先生並びに副会長浦田緑鴻先生、副理事長宮原緑晃先生、若杉緑高先生、また幹部役員の諸先生方には連盟の普及と発展に格別のご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昭和五十一年に財団吟剣詩舞憲章の「礼と節」をモットーに「緑は色濃く水の流れば力強く」と願い流祖故奥緑水先生、改流宗家、故箕輪緑崇先生のご指導のもとに発足されたと聞き及んでいます。

吟界も詩吟人口減少という大変厳しい状態におかれています。このような時期に二代目箕輪緑崇先生のご誕生されました。誠におめでたく重ねてお祝いを申し上げます。

初代箕輪緑崇先生は吟剣詩舞道発展に心血をそそがれ、自分も感銘を受けお手伝いもさせていただきました。又、ご指導も多々頂き、今の私があるのも初代箕輪緑崇先生のお陰と言っても過言ではありません。

緑崇流の皆様におかれましては、本日の記念祝賀会のご成功を機に二代目宗家箕輪緑崇先生を中心に一致団結され、緑崇流吟道緑水吟詠会の限りなきご発展と皆さん方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。



お礼のことば

緑崇流吟道緑水吟詠会

実行委員長

渡辺 緑 翔

錦秋の善き日、公私何かとご多忙中にもかかわらず、本日ここに緑崇流吟道緑水吟詠会「二代目宗家箕輪緑崇襲名披露並びに会創立四十周年記念祝賀会」を開催させていただきましたところ多くの諸先生方のご来駕の栄を賜り、誠にありがたく感謝申し上げます。

顧みますと、昭和五十一年に「吟道緑水吟詠会」を創設し、吟剣詩舞道憲章の「礼と節」を遵守し、併せて故松口月城先生より当会のために会詩としていただいた「真」「善」「美」の真髓を見極め「緑は色濃く水の流れば力強く」と願い、流祖故奥蘭緑水師、会長故箕輪緑崇先生の指導のもとに発足しました。

私たちが会員はこの素晴らしい二人の指導者の下に集い、吟剣詩舞道の精神を通じて吟道に研鑽してまいりました。その後、平成五年に緑水流から緑崇流へと改流され「希望と努力」を掲げられ、故先代宗家箕輪緑崇師のご指導のもと、一心不乱にお勉強させて頂きましたのも昨日のこのように楽しく懐かしく想いだされます。

その後、平成十八年十一月十二日、財団法人日本吟剣詩舞振興会より「吟剣詩舞功労賞」を受賞されました。

しかしながらその受賞された喜びもつかの間で、当会で喜びと感謝の祝杯を交す間もなく、同年十一月三十日に突如急逝されました。悲しみの中ご子息が「限りなき前進」をモットーに平成十九年一月より緑崇流を継承され私たち会員も安堵するところができました。

今後は当会四十周年と言う大切な節目に、二代目宗家箕輪緑崇を中心に努力精進して参ります。どうかまだ若い二代目宗家と緑崇流吟道緑水吟詠会を末永くご支援、ご芳情の程よろしくお願い申し上げます。

本日は何分とも不慣れな私たちでございますが精一杯務めさせて頂きますので、何事においてもご寛容賜りますよう、伏しお願い申し上げますご挨拶に代えさせていただきます。

式典

一、開会宣言

司会

加藤 緑 絆
徳岡 江 翔

一、国歌斉唱

先導

中山 緑 山

一、物故者追悼

先導

辻 緑 樟
西岡 緑 優

一、会詩合吟

一、会員吟詠 「両英雄」

作 徳富蘇峰

先導

西岡 緑 優

一、開式のことば

実行委員長

渡辺 緑 翔

一、来賓祝辞

愛国詩吟総連盟 理事長
大阪府詩吟連盟 理事長
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会
近畿地区連絡協議会 議長

山岡 哲 山 先生
矢間 紫 水 先生
宮田 実 龍 先生

一、花束贈呈

一、祝 舞 「祝賀の詞」

作 河野天籟

青柳流剣詩舞道 家元 舞

青柳 芳 寿 朗 先生

大阪府吟剣詩舞道総連盟 理事長 吟

増田 鵬 泉 先生

大阪府詩吟連盟 事務局長

中尾 仁 泉 先生

一、祝 吟「絶句一題」

吟道哲山流興風吟詠会 宗家会長

山岡哲山 先生

一、祝電披露

二代目宗家

箕輪緑崇

一、花束贈呈

「襲名披露吟」「山行同志に示す」 作 草場佩川

一、閉式のことば

実行副委員長

宮原緑晃

祝賀パーティー

司会

津村緑秀
徳岡江翔

一、開宴のことば

実行副委員長

若杉緑高

一、お祝いのことば

井原水産株式会社 代表取締役社長
'02 絆の会 会長

井原慶児 様
鳥居翔鵬 先生

一、鏡開き

愛国詩吟総連盟 顧問相談役
大阪府詩吟連盟 常任相談役

石川文吾 先生

一、乾杯

津軽三味線

徳田恵美

一、清興

キーボード・ボーカリスト

チーム恵美乃助
マイケル・リー

一、閉宴のことば

大会副会長

浦田緑鴻

ご来賓 ご芳名

(五十音順 乞御許)

テーブル名

青柳流 剣詩舞道 家元 青柳芳寿朗 先生 B

神心流 尚道館 五世家元 安倍秀風 先生 A

天津流 舞踊詩舞 家元 天津扇三 先生 C

(公) 関西吟詩文化協会 旭彩会 理事長 有田彩堯 先生 G

粹心流星華吟詠会 宗家会長 池田哲星 先生 B

愛国詩吟総連盟・大阪府詩吟連盟 顧問相談役 石川文吾 先生 A

(公) 日本詩吟学院 大阪岳風会 会長 井上岳宝 先生 C

清風流 雅城吟詠会 本部長 内山雅鳳 先生 F

吟道 誠心流 会長 遠藤景洲 先生 E

三王流 吟詩道大和会 副会長 岡本神侑 先生 G

桂心流 詩歌吟詠会 宗家 小佐野桂洲 先生 C

(公) 関西吟詩文化協会 錦堂会 会長 鎌田啓堂 先生 G

三王流 吟詩道大和会 宗家会長 龜山尚侑 先生 E

吟道 哲水流 八洲吟詠会 宗家会長 北川哲水 先生 A

(公) 関西吟詩文化協会 快川会 会長 小林快川 先生 B

真道流尚武館吟劍詩舞會総本部長 小枝銀風先生 D

詩歌吟詠景心流六映会 宗家会長 佐々木一景先生 C

粹心流星華吟詠会 常任相談役 滝星昇先生 G

詩道楠水吟詠会 副会長 田畑水姫先生 E

詩道翔風吟詠会 會長 樽井鴻翔先生 F

(社)哲泉流日本吟詠協会 宗師副會長 中尾仁泉先生 B

詩吟溪月流関西連合会 會長 中塩屋溪春先生 F

日本吟道岳龍会 副會長 中山岳襄先生 E

龍吟流実龍吟詠会 副會長 名本旺龍先生 F

東嶺流絃陽吟詠会 宗家會長 繩本東嶺先生 C

穂水流国民吟詠会総本部 総範會長 西山穂敬先生 E

(公)益社団法人関西吟詩文化協会 旭親會會長 埜辺旭洲先生 G

磯部流吟道清明会総本部長 早崎麗城先生 E

大日本敬天社道場総本部 神伝真正早淵流劍詩舞道 宗玄 早淵鯉操先生 B

吟道賀城流総本部 副會長 樋口亭城先生 F

貴山流精神吟詠会総本部長 平内精鵬先生 D

吟道東州流 會長 平田東流先生 D

関心流日本興道吟詩会 宗家 藤井芳洲先生 B

久坂流実翁吟社 総本部副会長
 (社) 哲泉流日本吟詠協会 宗師副会長
 詩道楠水吟詠会 宗師会長
 (公) 日本詩吟学院新大阪岳風会 会長
 龍吟流実龍吟詠会 宗家会長
 紫洲流日本明吟会総本部 元老
 詩歌朗詠黎明会 会長
 日本樽美流吟詠会総本部 会長
 吟道紫水流梅芳吟詠会 宗家会長
 粹心流星華吟詠会 副会長
 吟道哲山流興風吟詠会 宗家会長
 吟道素心会 会長
 吟道賀城流総本部 会長
 紫洲流日本明吟会大阪本部 会長

風呂谷 實女 先生 E
 増田 鵬泉 先生 A
 松葉水 勲 先生 C
 松藤 岳頌 先生 D
 宮田 実龍 先生 A
 村川 紫影 先生 C
 森下 黎一 先生 D
 森宗 呀城 先生 D
 矢間 紫水 先生 A
 矢田 星旺 先生 F
 山岡 哲山 先生 A
 山村 素心 先生 D
 横山 寿城 先生 B
 吉鷹 紫彰 先生 F
 中井 紫晴 先生 G

絆の会

聖風流 総本部 会長

聖風流 吟道会 総師範

眺岳流 眺繡会 会長

(公)日本詩吟学院認可富山県松風会 相談役

礧部流 吟道清明会

朝翠流 朝光吟詠会

神心流 尚道館 奈良地区 会長

学風流 万葉吟詩舞会 副会長

朝翠流 朝道吟詠会 会長

(社)関西吟詩文化協会晴友吟詠会 高師範

吟道哲水流八洲吟詠会 葛城地区連合会 会長総師範

井原水産株式会社 代表取締役社長

井原水産株式会社 経営管理部次長

ホースセラピーペガサス 有限会社リーダー代表

浅田 聖謙 先生 H

荒井 篁洲 先生 H

飯塚 眺繡 先生 H

稲葉 岳詔 先生 H

角山 皐城 先生 G

片山 奏鵬 先生 H

岸澤 吼風 先生 H

高久保 聲学 先生 H

鳥居 翔鵬 先生 H

深山 晴姪 先生 I

脇本 水耀 先生 I

井原 慶児 様 I

橋本 雄二 様 I

林 弥生 様 I

坂本 照様 I

松山 展治 様 I

李 愛子 様 I

緑崇流吟道緑水吟詠会
総本部担当講師



大範師
渡辺 緑 翔



大範師
佐野 緑 扇



大範師
中谷 緑 洲



大範師
中山 緑 山



大範師
若杉 緑 高



大範師
宮原 緑 晃



総師範
黒澤 緑 陽



総師範
岸部 緑 煌



総師範
安福 緑 玲



総師範
畑野 緑 慶



総師範
須磨 緑 泉



総師範
山戸 緑 晨



総師範
松村 緑 圭



総師範
津村 緑 胤



総師範
西岡 緑 春



総師範
黒野 緑 新



総師範
浦田 緑 鴻



総師範
岩本 緑 利



総師範
木原 緑 侑



総師範
福本 緑 景



総師範
辻 緑 樟



総師範
赤川 緑 瑛



上席師範
松野 緑 煽



上席師範
井内 緑 叡

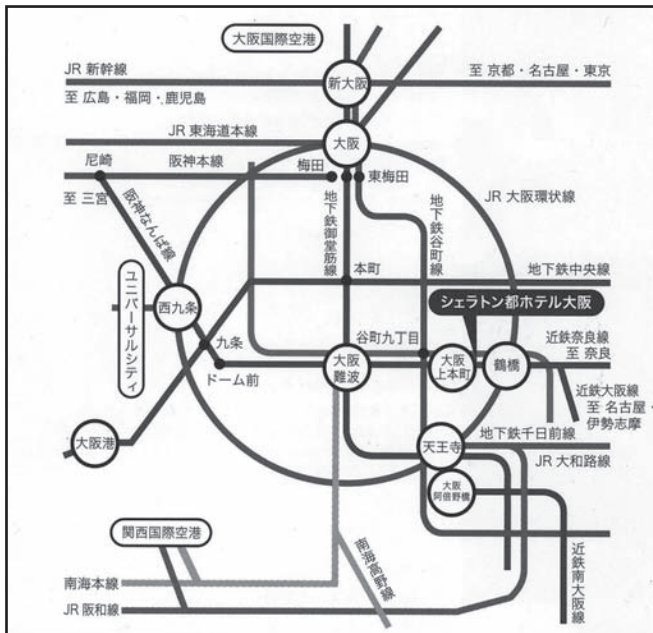


上席師範
河田 緑 烽



上席師範
米田 緑 海

【会場までのアクセス】



■電車をご利用のお客様

- ・近鉄 大阪上本町駅直結（近鉄 大阪難波駅より2駅3分）
- ・地下鉄「谷町線」・「千日前線」谷町九丁目駅より徒歩約5分
- ・JR新大阪駅より/地下鉄「御堂筋線」なんば駅で近鉄線に乗り換え
大阪上本町駅下車（約30分）
- ・JR大阪駅より/JR「大阪環状線」鶴橋駅で近鉄線に乗り換え。
大阪上本町駅下車（約20分）
- ・阪神三宮駅より「阪神なんば線」大阪上本町駅下車（約50分）



■お車をご利用のお客様

- ・阪神高速環状線道頓堀出口より約5分
- ・駐車場 900台
- ・最高2.1mまで

■空港よりお越しのお客様

- ・関西国際空港より近鉄上本町行リムジンバスで約50分
（ホテル1階玄関前に到着）
- ・大阪国際空港より近鉄上本町行リムジンバスで約30分
（ホテル2階直結近鉄バスセンターに到着）

緑崇流吟道緑水吟詠会総本部

〒六三〇一八一三五 奈良市大安寺西一―三三四―三
TEL・FAX 〇七四二―三五―六七一九